

世界的ハーピスト！
長澤真澄 Masumi Nagasawa



シングル・アクション・ハープの黄金時代
—啓蒙時代からロマン主義へ—

W.クロフト(1678-1727)

J.B.クラムフォルツ(1747-1790)

F.J. ナーダーマン (1781-1835)

S.コリー (1775-1831)

J.B.カルドン (1760-1803)

L.シュポア (1784-1859)

M.グリンカ (1804-1857)

☆使用楽器 エラール、シングル・アクション・ハープ(1820年)

10月18日(月) 開演：19：00(開場 18：30)

会場：ラリール *地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅徒歩6分

入場料：4,000円(ワイン・ドリンク付き)

限定50席

長澤真澄 MASUMI NAGASAWA

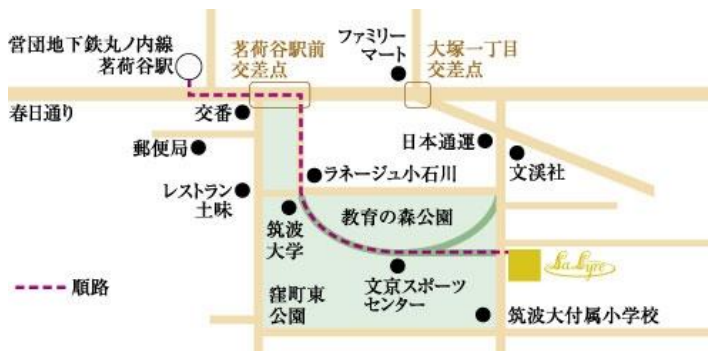
幼少よりオランダに在住。ハープを渡辺万理氏、桑島すみれ氏に師事。オランダ、マーストリヒト音楽院でフィア・ベルグハウトのもとで学ぶ。同音楽院のソリスト試験を最高点で卒業し、その後特に優れた演奏家にもみ与えられる特別賞「Prix d'Excellence」を受賞。マラ・ガラッシにシングルアクションハープを師事。音楽新聞社主催村松賞音楽部門大賞を受賞。

シングルアクションハープ、グランドハープのほか、アイリッシュハープ、箏篋など様々な種類のハープを演奏し、ヨーロッパを拠点に独自の世界を繰り広げている。クラシックのレパートリーのみならず積極的に現代の作曲家による作品の紹介にも力を注いでいる。欧州各地での音楽祭に招かれ演奏する他、数々のオーケストラと共演。世界的なソプラノ、チェチーリア・バルトリ、キリ・テ・カナワとも共演し話題となる。日本ではオーケストラとの共演やリサイタルの他に、「題名のない音楽会 21」「Music Soul」（共にテレビ朝日系）「海の向こうに暮らしてみれば」などテレビやラジオにも出演している。

近年は特に18世紀後半から19世紀中ごろまでのレパートリーを精力的に開拓し、フランス王妃マリー・アントワネットが愛奏したことで知られるシングルアクションハープを中心とした活動に力を入れている。この楽器では、フライブルグ・バロックオーケストラ、バルタザール・ノイマンアンサンブル、バーゼル室内楽オーケストラなどのバロックオーケストラからたびたび招待を受け、シングルアクションハープの専門家として国際的に高い評価を得ている。

2008年にはリリ・ラスキーヌ国際ハープコンクールの審査委員を務める。現在マーストリヒト音楽院ハープ科教授として世界各国からの生徒たちの指導に当たっている。

<http://www.masuminagasawa.com>



ラリール

〒112-0012

東京都文京区大塚 3-21-14

Tel. 03-3942-2830

地下鉄丸の内線 茗荷谷駅下車徒歩7分

チケットの予約及びお問い合わせ：(株)フロレスタン
03-6457-4695 <http://www.florestan.co.jp>

Florestan